

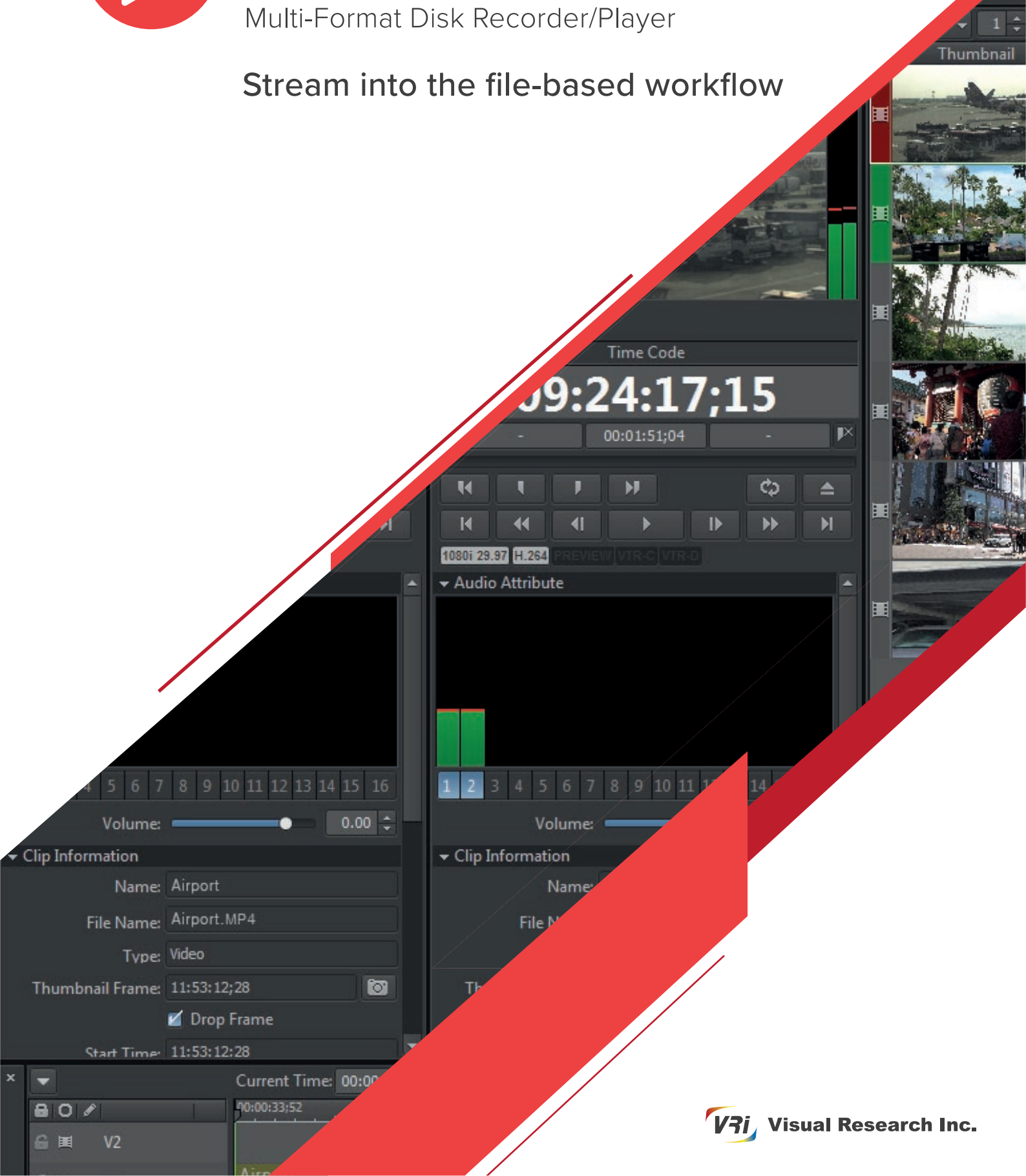


*Karisma*

# D-Stream

Multi-Format Disk Recorder/Player

Stream into the file-based workflow



## リニアとNLEの垣根をなくす、マルチフォーマットディスクレコーダー/プレーヤー



リニアで編集すべきかNLEで編集すべきか、悩む必要がなくなりました

D-Streamは、VTRのように編集機からコントロールして編集・ファイル化をおこなうのと同時に、NLEからファイルの移行・ファイルベースの編集もおこなえるため、作業時間と設備費用を節約します。

### 作業時間の短縮

即座にプリロール時間や頭出しが可能で、持ち込まれたファイル素材をそのまま使用できるので変換の必要がありません。また、直したいところだけコピー＆ペーストですぐに変更できます。

### 設備費用の軽減

テープデッキ2台分の効果でテープデッキの数を減らすことができ、年間費用も保守費用のみのため、都度発生するメンテナンス費用がかかりません。また、テープの使用を必要最低限で済ますことができるので、制作会社様の負担も軽減します。

### マルチコーデック・入出力フォーマット

D-Streamは、1080i, 1080p, 720p, NTSC, PALなどの入出力フォーマットに対応し、XDCAM, ProRes, DNxHDなどの様々なコーデックをサポートしています。

### 10bit処理

高精細ビデオ録画をサポートするために10ビットの内部処理をサポートしています。DNxHD, ProRes4444などのコーデックを使用することで、ワークフロー内での品質低下やファイルサイズの増大を最小限に抑えます。

### LTC

EMB LTC/EMB VITC/外部LTCのタイムコード選択が可能です。

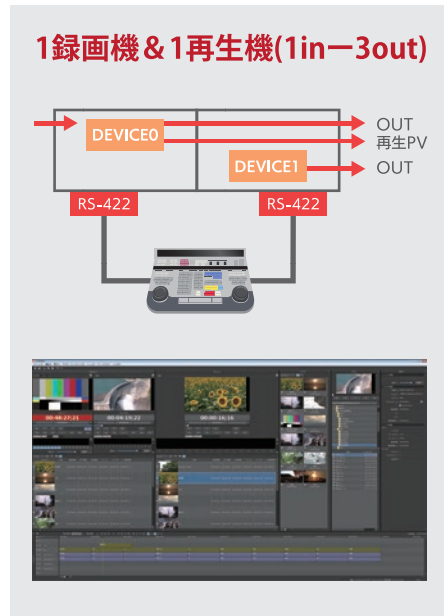
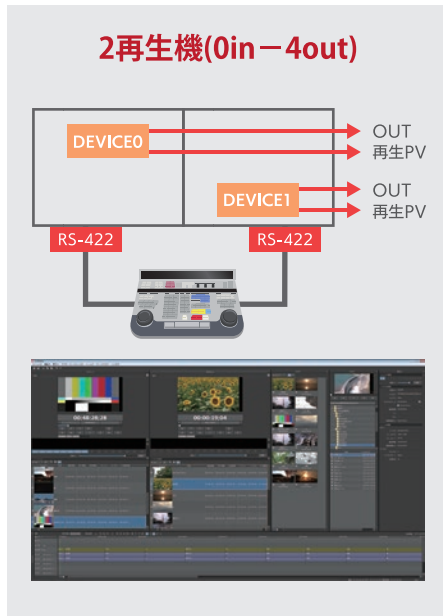
### 16Audio

エンベデッドオーディオまたはAES/EBUで16chオーディオの録画・再生ができます。

## リニアワークフローへの適応

VTRデッキをD-Streamに置き換えることで、リニア編集機を維持したまま、ファイルベースの環境に切り替えることができます。

### 選択可能な入出力構成



### リニア編集機からコントロール

9ピンコントロールを使用している既存のリニア編集機から、最大2チャンネルのビデオの双方向再生・一時停止・フレーム/フィールド操作、最大300%の倍速での早送り・巻き戻しが可能です。

対応編集機

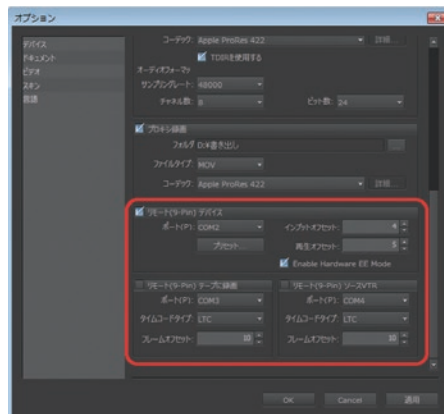
MUSASHI	MDC-70, MDC-70T
SONY	RM-280, BE-9100, Plug-in Editor

また、リニア編集に欠かせない編集機能を搭載しています。

アッセンブル編集、スプリット編集、インサート編集、プリリード編集、オーディオ編集、フィールドドレック、EEプレビューモード

### VTRデッキと直接接続

D-Streamは、VTRデッキと直接接続することでVTRデッキを制御し、簡単にテープへの書き出し、テープ素材の録画をおこなうことができます。

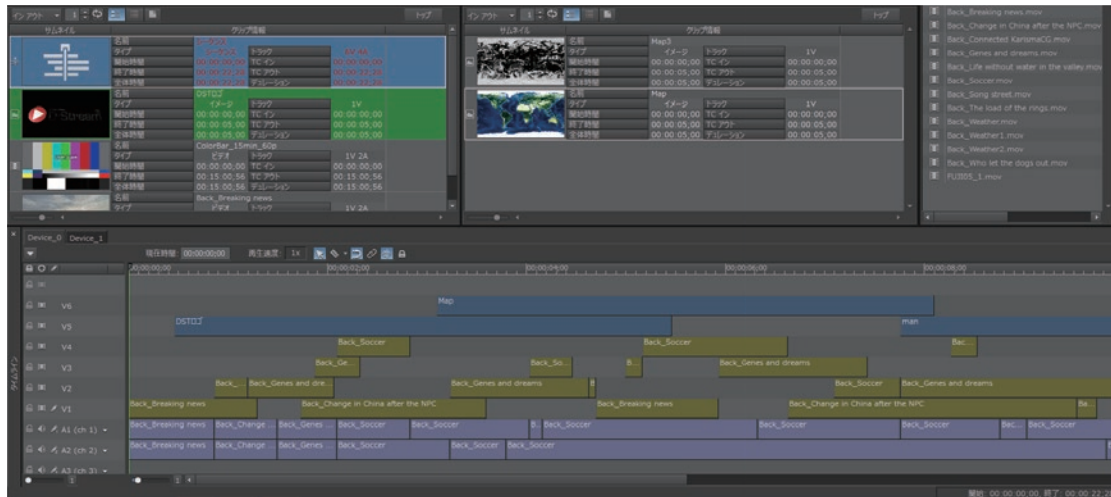


### GPIOコントロール (オプション)

送りたいクリップをリストに並べ、スタート/ストップ・ネクスト・バック・レコーディング/ストップを外部GPIOで制御し送出することができます。

## ノンリニアライクな編集、ノンリニアとの親和性

リニア編集機を使いながらファイルベースのタイムラインを使用した制作を実現しました。これにより、持ち込まれたファイルをそのまま活用しながらリニア設備を使って編集し、一部の修正やサイドドロップの調整が瞬時におこなえるため作業効率が大幅に改善されます。

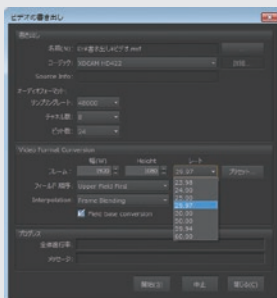


## XMLシーケンスファイルの行き来

ノンリニアで制作されたシーケンス(XML)のインポート、D-Streamで制作したシーケンス(XML)のエクスポートができます。

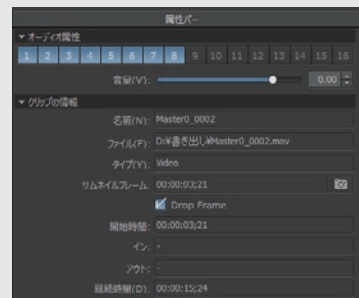


## フレームレートコンバータ



ファイル書き出し時に、フレームレートと解像度を設定できます。また、フィールド順序/プログレシブの選択と保管方法を設定できます。

## ドロップ／ノンドロップ変更



属性バーにはクリップ情報が表示されます。GUI上のドロップフレームのチェックを外すとノンドロップへ変更します。

## インジェスト用途

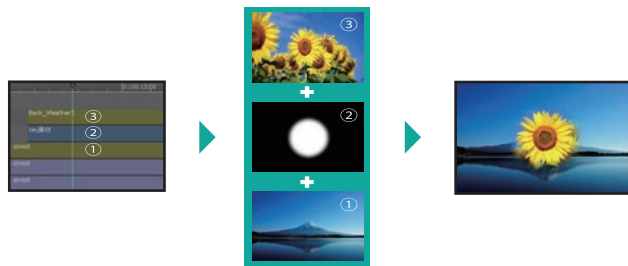
D-Streamは同時に2チャンネルのインジェスト(録画)をおこなえます。

保存先をNASなどの外部ストレージにすることで、録画途中でもノンリニア編集機から編集(追っかけ編集)が可能です。

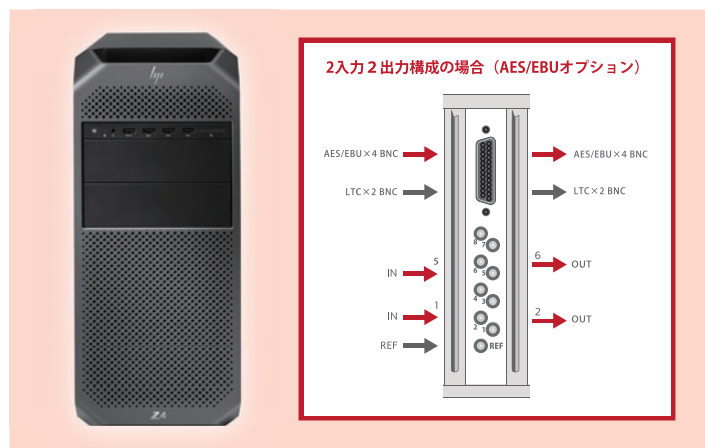


## 更に作業効率をあげるNLEオプション

- シーケンスの編集が便利なNLEレイアウトに対応
- トランジションエフェクトに対応
  - ・リアルタイムトランジションエフェクト
  - ・ビデオ・静止画およびオーディオのフェードとクロスフェードトランジションエフェクト
- 編集点ベースのクリップ編集に対応
  - ・編集点をベースにしたクリップの挿入、上書き、置き換え編集
  - ・シーケンスのイン/アウト点領域の編集
  - ・編集点の選択およびタイムラインベースの編集点編集
- ブレンドモード
  - ・スイッチャーやNLEを使用しなくても、キー素材を使用して簡単に映像の合成が可能



## D-Stream LT ワークステーション



## 推奨マシンスペック

	D-Stream LT 参考スペック	D-Stream DX 参考スペック
OS	Windows 7 Pro, Windows 10 Pro	
CPU	Intel Core i7-7700K 4.2GHz or higher	Dual Intel Xeon E5-2623 V3 3.0GHz or higher
RAM	DDR4 16GB 2,133MHz (8x2GB) or higher	DDR4 16GB 2,133MHz (4x4GB, 2CPU registered RAM) or higher
VGA	Intel HD Graphics 630 or higher	NVIDIA GeForce GTX 1060 or higher
ディスプレイ	1920 x 1080 or higher	
Video I/O ボード	Matrox DSX LE4 (L/FH) 4 100/500/550 or Matrox X.mio3 (L/FH) 4 100/500/550	

## ビデオI/Oスペック

	詳細		詳細
入出力信号	BNC x4 75Ω SD-SDI / HD-SDI / 3G-SDI 4:2:2 SMPTE 259M/292M	Embedded オーディオ	各SDI信号で最大16チャンネルのオーディオに対応 SMPTE 272M A、B、C (SD) と SMPTE 299M (HD) 規格に対応 48KHzサンプルレート、16、20、24ビットのオーディオストリームに対応
基準信号	BNC x1 75Ω NTSC BB / 3値 シンク	AES/EBSオーディオ (オプション)	最大16チャンネルの入出力、AES/EBUのオーディオに対応 48KHzサンプルレート、16、20、24ビットのオーディオストリームに対応
フォーマット	1920 x 1080i @ 25, 29.97, 30fps 1920 x 1080p @ 23.98, 24, 25, 29.97, 30fps 1920 x 1080psf @ 23.98, 24fps 720p @ 50, 59.94, 60fps 576i @ 25fps 486i @ 29.97fps	GPI入出力 (オプション)	START/STOP, NEXT, BACK, REC START/STOP
		RS-232Cボード (オプション)	4ポート (※2ポートのみ使用) RS-232C <-> RS-422変換コネクタ(K2)付属

## ワークステーション参考スペック

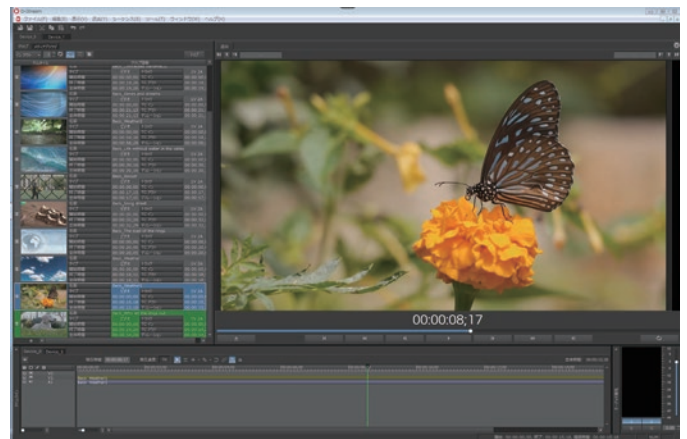
	詳細		詳細
OS	Windows7 Professional 64bit	Cドライブ	SSD 240GB
Chipset	C612	Dドライブ	SSD 960GB
CPU	Intel Xeon E5 1650 V4 (6C 3.60GHz)	電源	750W
メモリー	16GB(4x4GB) DDR4-2133 SDRAM	外形寸法	482.6(W) x 450(D) x 177(H)
VGA	GeForce GTX1060 3GB 2x Dual Link DVI-D 1x HDMI 2.0b 1x DisplayPort 1.4	重量	20kg
		ネットワーク	2x RJ45 Gigabit Ethernet LAN
		USB	2x USB 2.0 ports (前面) 6x USB 3.0 ports (背面)

※使用するワークステーションの変更に伴い、外形寸法、質量、消費電力等が変更になることがあります。

# コーデック表

拡張子	HD		SD
	録画	再生	録画&再生
AVI	DVCPro HD I-Frame 4224/422 MPEG-2 lBP 420/422	DVCPro HD I-Frame 4224/422 MPEG-2 lBP 420/422	MPEG-2 lBP 420/422 DVCAM 420/411 DVCPRO 411 DVCPRO50 422
MOV	DVCPro HD XDCAM 50/35/25 ProRes 4444 (With Alpha) ProRes 422HQ, 422, 422LT, Proxy H.264*	DVCPro HD XDCAM 50/35/25 ProRes 4444 (With Alpha) ProRes 422HQ, 422, 422LT, Proxy H.264*	DVCAM 420/411 DVCPRO 411 DVCPRO50 422 ProRes 4444 ProRes 422HQ, 422, 422LT, Proxy H.264*
MXF	MPEG-2* DVCPro HD XDCAM 50/35/25 AVC-Intra 100/50 DNxHD 220/145* DNxHD 220x/100* XAVC Intra Class 100 CBG* XAVC Long GOP 50/35/25*	MPEG-2 DVCPro HD XDCAM 50/35/25 AVC-Intra 100/50 DNxHD 220/220x/145* DNxHD 220x/100* XAVC Intra Class 100 CBG* XAVC Long GOP 50/35/25*	DVCAM 420/411 DVCPRO 411 DVCPRO50 422 MPEG-2* MPEG-2 DVD*
MP4	H.264* MPEG-2*	H.264* MPEG-2*	H.264* MPEG-2*
MPG	MPEG-2*	MPEG-2	MPEG-1 VCD* MPEG-2* MPEG-2 DVD*
画像ファイル	再生: TGA, BMP**, JPG**, PSD, TIFF, GIF**, PNG 指定フレームの出力: TAG, BMP, JPG, PNG		
音声ファイル	WAV (録画&再生 / サンプリングレート 48kHz), MP3 (再生のみ / サンプリングレート 48kHz)		

\*オプション  
\*\*アルファチャンネル非対応



- 既存のHDコーデックに加えて複数の4Kコーデックをサポート
- 12G SDI or 3G SDI x4 での最大1入力2出力のXAVC4K同時処理  
※ProRes, DNxHRは1chの入出力とXAVC 4Kの入出力の同時処理
- 映像動画ファイルと\*Key動画ファイルを同時再生
- 1入力から、映像動画ファイルと\*Key動画ファイルの同時生成  
\*Key動画ファイルは、ProRes4444(アルファチャンネル付), I-Frame 4224に対応

拡張子	コーデック
MOV	ProRes 4444/422/422(HQ)/422(LT)/proxy
MXF	XAVC Intra Class 300, 480 CBG
	XAVC Long GOP 140/200
	DNxHR LB/SQ/HQ/HQX

ビデオ I/O フォーマット	仕様
	3840 x 2160p @ 50, 59.94, 60fps
	1920 x 1080i @ 25, 29.97, 30fps
	1920 x 1080p @ 23.98, 24, 25, 29.97, 30, 50, 59.94fps
	1920 x 1080psf @ 23.98, 24fps
	720p @ 50, 59.94, 60fps
	576i @ 25fps
	486i @ 29.97fps

お問合せ先



ジャパンマテリアル株式会社 グラフィックソリューション部

E-mail : sales-IT@j-material.jp URL : www.jmgs.jp

東京本部 〒102-0082 東京都千代田区一番町5-3 アトラスビル4F  
TEL : 03-6261-0386 FAX : 03-6261-0387

名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-24-5 第2森ビル8F  
TEL : 052-526-1777 FAX : 052-526-1778

※記載されている内容は予告なしに変更される場合があります。※記載された商品名は各社の商標または、登録商標です。